

最上流米コシヒカリをご愛顧いただき、ありがとうございます。今年の米作りを振り返って見ますと、……

天候について——今年の山口は、春先に雨の日が多かったものの、五月下旬の田植え以降は好天に恵まれました。台風の直撃を受けることも、幸いにして、ありませんでした。

育て方について——長年使ってきた有機肥料を農協があつかわなくなり、やむなく別の有機肥料を変えたため、使い勝手がわからず、多くやり過ぎました。その結果、稲の背丈がいつもより高くなり、稲刈りのころにはかなり傾いてしまいました。しかし、地面にベッタリ倒れるまでには至らず、刈り取り作業が何とか通常にできました。味への影響を心配しましたが、大丈夫のよう。収量は平年に比べて「やや良」といったところですよ。

農業機械について——（稲を刈り取って脱穀し、籾をとる）コンバインも、（籾を乾かす）乾燥機も、（籾殻を外して玄米をとり出す）籾すり機も、先代から受け継いでそのまま使っているため、年季の入った古いものです。コンバインは故障しましたが、交換部品があり、修理できました。乾燥機は、水分センサー、ファンを回すモーター、ボイラーを制御する電子回路の三か所も故障してしまい、「三十年前の機種で交換部品がない」とのこと。修理をあきらめ、買いかえざるを得ませんでした。

以上をまとめると、天候はたいへんよかった。育て方は、多少の失敗はあったが、まずまずだった。農業機械は、故障やら買いかえやらでさんざんだった。……というところです。

最上流米コシヒカリのパンフレットを同封させていただきました。  
ご注文をお待ちしております。

平成二十九年 十月 吉日

穂山 恒男